

演劇教室と「雨ふり小僧」

演劇

10月13日（金）、

劇団民話芸術座がやってきました。「子どもたちこそ最も質の高いものを与えたい」という思いからが劇団を立ち上げ、脚本・演出・出演と、寝る間も惜しんでまわり続けています。

第1部は「基礎練習」で、こんにやく体操とか腹式呼吸等を子ども達が体験しました。そして、第2部へのプロローグとなる朗読劇に、5年生2人、6年生1人と名取先生が挑戦しました。

第2部は、手塚治虫原作の「雨降り小僧」でした。主人公のモウ太は、山奥のたった1人の中学生でした。いつも町の悪ガキ達にからかわれるばかりで、ひとりぼっちのモウ太は、友達がほしいと強く思っていました。そんなある日、モウ太は雨上がりの川原で雨ふり小僧という妖怪と出会いました。雨ふり小僧は、モウ太の履いていた長靴を欲しがり、2人は『3つの願いを叶えたら長靴をあげる』という約束を交わしました。

ところが、3つ目の願いを叶えてもらった後、モウ太は約束をすっかり忘れてしまい……モウ太と雨降り小僧といっしょになってくりひろげ、友情・絆のものがたりでした。

ありがとうございました。



子役として出演した
6年の小宮山崎さん

